

## ■投資信託とは？

---

投資信託は、少ない投資金額でも効率的な資金運用ができるように作られた「投資商品」です。

- ・多くの投資家から資金を集める
- ・集められた資金を1つにまとめ、ファンドが組成される
- ・運用のプロ(ファンドマネージャー)が債券や株式などで運用する
- ・運用成果に応じて投資家に収益が還元される

## ■販売会社の役割－証券会社、銀行、保険会社、投信会社

---

投資家(顧客)ごとに口座を管理し、ファンドの販売や換金、分配金・償還金の支払いなどを行います。また、顧客に対して、ファンドの商品内容を説明したり、運用相談にのったりします。

「ファンドの募集・販売、分配金・償還金等の支払い、受益証券の保護預り、目論見書の交付、運用報告書・計算書等の交付・・・」

## ■運用会社の役割－投信会社

---

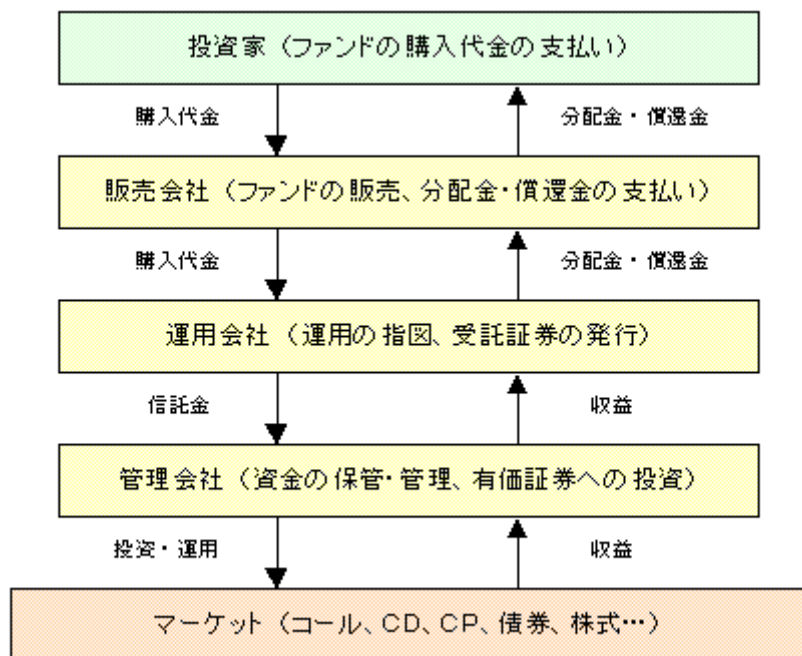
市場環境や顧客ニーズに合ったファンドを企画・設定し、投資家から集めた資金(信託財産)を運用します。また、受託会社に運用の指図を行います。

「ファンドの設計、運用方針の決定、各種調査分析(経済・市場・企業)、目論見書・運用報告書の作成、受益証券の募集・発行、運用の指図、基準価額の計算・・・」

## ■ 管理会社の役割－信託銀行、信託業務を営む銀行

運用会社からの運用の指図に従って、ファンドの信託財産から株式や債券などの売買を行います。なお、投資家から集められた信託財産は、自社の財産とは区別して保管・管理(分別管理)されています。

「信託財産の管理、有価証券への投資・管理、受益証券の認証・・・」



## ■ 専門家(プロ)に運用を託せる

ファンドの運用は、資産運用の専門家(プロ)が行うので、間接的にプロの知識・ノウハウを活用できます。(アナリストの分析、ストラジストの投資戦略、ファンドマネージャーの運用力・・・)

## ■ 小額投資が可能である

複数の投資家から集められた資金を一つにまとめる「資金の結合効果」により、少ない資金でも気軽に投資が行えます。

## ■分散投資が可能である

---

ファンドを通して、国内外の有価証券(株式、債券・・・)や短期金融商品などに分散投資が気軽に行えます。

## ■種類が非常に豊富である

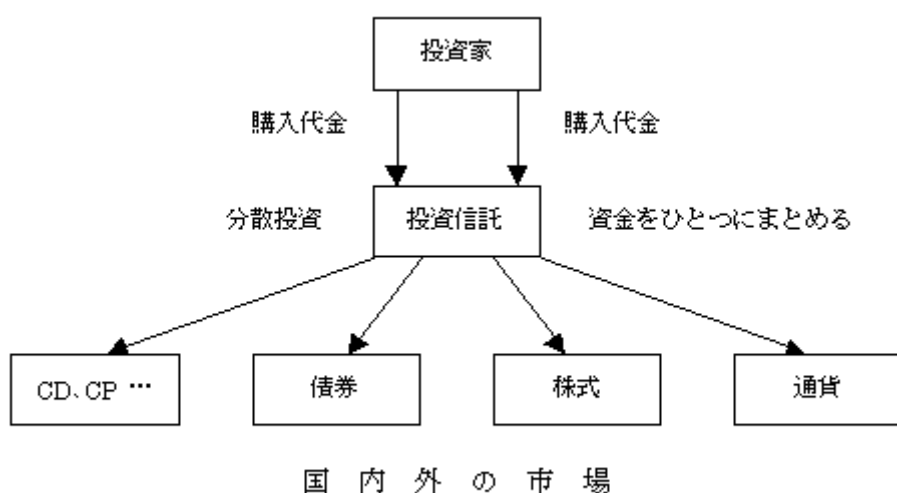
---

国内株式型、国際株式型、国内債券型、国際債券型、バランス型など、自分のリスク許容度や目的に合わせてファンドを自由に選択できます。

## ■預貯金に比べてリスクは高い反面、収益性は高い

---

一般に預貯金に比べてリスクは高いですが、運用がうまくいけば、高いリターン(収益)を得ることもできます。その一方で、運用がうまくいかなかったら、大きな損失が発生することもあります。



## ■投資信託の選び方

---

1. 過去の実績を重視する

運用成績の良いファンドを選ぶ

2. 資産残高が増えているファンドを選び

逆に減っているファンドは基準価格も下がっていくので、要注意！！

**☆選び方に迷いましたら、連絡をお待ちしております。浅見 浩**